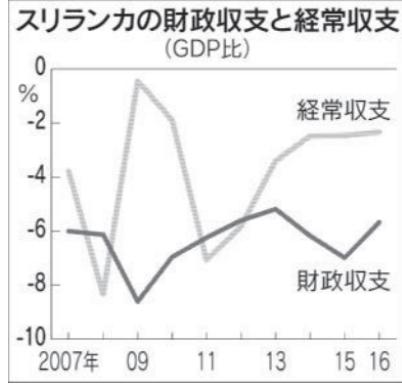


スリランカ人の知人から、インドの政治討論番組を録画したものをみせてもらつた。「中国が積極的にスリランカを初めとする周辺国の経済開発に関与していることは、インド外交に影響を与える」「インドは他国を支援する十分な資金がないので何らかの対応を考えないといけない」「日本などと共同でスリランカの開発を支援してはどうか」——。インドの3人の外交専門家が、中国の

# スリランカの外交と経済

E Y J A P A N F A A S 国際公共チーム兼ジャパン  
ビジネス・サービス エグゼクティブディレクター

山田 聰氏



著作権の関係上、  
写真は表示しておりません。

# 外国投資呼ぶ改革必要

そもそも国内総生産（GDP）約6%程度の財政赤字が続いているわけで、財政悪化リスクを抑制するために、まずは外貨流入を増やして為替安定に注力し、さらに経残高のうち、約半分が外貨建債務であるため、政府はこの通貨安の影響を気にかけている。

日本、人材  
出に頼つてばかりはいら  
れない。  
ちなみに既に進出した  
日本企業に聞くと、英語  
が堪能で勤勉なスリラン  
カの労働力に高い評価が  
聞かれ、一部の製造業の  
競争力は日本企業に匹敵  
するという指摘もある。  
今後、投資を呼び込むた  
めには、変わりやすい法  
規、税制、人材、市場、文化  
など、さまざまな要素を考慮  
する必要がある。  
日本企業の海外進出は、  
多角的な視点で検討する必  
要がある。

物で苦労していることは存知でしょう。そのイード企業と一緒に第三国スリランカの開発をはどうか、ということですか……」と言った後、やつてしまつた。外交戦始の方向性が、民間のソノバンが合うかどうかについては慎重な検討が必要かもしれない。

スリランカに対する支援について議論していた。実際、中国はスリランカ南部で港湾や空港の開発を実施したほか、中心都市のコロンボでも不動産開発を積極的に進めている。中国がスリランカを重視していることは間違いない。他方、インドとしては、自国の南の海

上の要衝に中国が乗り出していくことについて注目している。こうした中で、スリランカ政府は、自国の経済発展につながることから、中国だけではなく、日本やインドが自国の開発に参加することを歓迎する姿勢である。スリランカは多面的な外交を開拓し、自国の経

濟發展につなげているよう  
にみえるが、スリラン  
カ経済そのものは、必ず  
しも順調ではない。公的  
債務が増加し、經常赤字  
が続く中で、産業の多角  
化が進まず、優秀な若年  
労働力は海外に出て行つ  
てしまつという状況が続  
く。前述の中国の開発に  
ついても、同国からの借

金で進めていた開発であり、開発の結果が経済の拡大、税収増加につながらなければ、スリランカ自身が債務負担に苦しむことになる。

濟を活性化し、税収を増  
加させることが必要であ  
る。すなわち、輸出を起  
点とする経済成長を実現  
するような抜本的改革が  
必要だ。

こうした状況下、スリ  
ランカ政府としては、将  
来の輸出拡大につながる  
製造業やIT（情報通信）  
産業などに日本を含む外  
国企業の進出に積極的に  
対応していく方針だ。

度や運用を安定させ、優先投資産業を確定し、投資を促進するためのロードマップを明確にすることが必要だろう。日本としては、工業団地の整備や産業人材育成で貢献できるかもしれない。ところで、日印共同でペリランカの開発を実施する可能性について、日

# 日本、人材育成で貢献可能

投資を促進するための口  
優先投資産業を確定し、  
度や運用を安定させ、  
ドマップを明確にする  
ことが必要だろう。日本  
としては、工業団地の整  
備や産業人材育成で貢献  
するかもしれない。  
ところで、日印共同で  
ハリランカの開発を実施  
する可能性について、日  
本企業のスリランカ通に  
聞いてみた。「多くの日  
本企業が商売上手のイン  
・企業を相手にインド市  
場で苦労していることは  
ご存知でしょう。そのイ  
ンド企業と一緒に第三国  
のスリランカの開発をし  
はどうか、ということ  
ですか……」と言った後、  
立ってしまった。外交戦  
の方向性が、民間のソ  
シティは慎重な検討が必  
要かもしれない。